

広報 すぎなみ

Suginami



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

{ 12/15 }
令和3年(2021年)
No.2319

子どもたちの
より良い学びのために。

杉並区教育委員会は、各小中学校に学校運営協議会を設け、地域と共にある学校づくりを進めています。この協議会で意見を交わし合い、より良い取り組みを探究しながら奔走する学校運営協議会委員のお二人に、子どもたちや学校への思い、委員として大切にしていることなどを伺いました。

特集

人
すぎなみビト

学校運営協議会委員



撮影協力：向陽中学校

Contents — 主な記事 —

6 | 年末年始の区の業務案内 9 | 令和3年を振り返る 杉並区の主な出来事 16 | 新型コロナウイルス感染症 第6波に打ち克つ対策を進めています

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課



お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が中止になる場合があります。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

CASE-1 | 学校との関係を地道に築き「本当に役立つ」提案を

—学校運営協議会委員になったきっかけを教えてください。



娘が向陽中学校に在学していた時、PTA会長になったことをきっかけに学校運営協議会に委員として入り、娘の卒業後も9年ほど続けています。同校の協議会では年に2回、先生方との合同研修会があり、テーマを決めてディスカッションをしていました。その機会に先生方が学校で感じているさまざまなニーズを拾い上げ、協議会としてできることがないかを議論。その後、地域の力・人材を借りながら活動に落とし込んでいきます。例えば、取り組みの一つである学習支援の場「Cafe勉」。これは「個々の学習面で手の届かないところもあって」という先生の小さなつづやきから生まれました。区の施設をお借りして、地域の方々に先生役をしてもらい、勉強の苦手なところなどを見ていただいています。

—委員を務める上で大切にしていることは何ですか？

常に心掛けているのは、PTAのように保護者として学校に意見するのではなく、第三者の視点で建設的に考えること。私たち委員の興味でやりたいことを提案するのではなく、「この取り組みは本当に学校や先生や子どもたちの役に立つのか？」と委員みんなで客観的に検討し、ポジティブに楽しみながら行うことが大切だと考えています。学校現場は、とすると内向きになりがちです。外から地域の力を入れることに難しさを感じる場面もあります。でも、だからこそ先生方との丁寧なコミュニケーションを心掛け、信頼関係を築けるよう地道な声掛け等を続けることが必要です。以前「Cafe勉」のチラシを配布した際、先生から「生徒は集まりましたか？ もしまだ集まっていなければ声を掛けますよ！」と状況を気遣うご連絡をいただき、私たちの活動が受け入れてもらえているのだとうれしくなりました。

—十亀さんが長く委員を続けてきた原動力は何ですか？

協議会から生まれたさまざまな活動の中で、子どもたちの真剣な姿、楽しんでいる姿を見られることは何よりも喜びです。あとは、人との縁も大きいかなと思います。学校や子どもたちを思う人たちと出会い、共に話をしているだけでエネルギーが湧いてきます。活動の



十亀 章子

中でそういった仲間と出会い、共に行動し、いろんなことを知ってまた次の行動に挑戦していく。その繰り返しが自然と自身を動かしているのではないのでしょうか。また、私の姉は故郷で中学校の先生をしていたのですが、彼女の話聞いて先生の大変さというものを実感した経験も原動力になっています。私が学校や先生のために活動することが、巡り巡って姉も含む教育現場の何かしらの役に立っているのかもしれない。そんな思いに背中を押されています。

—今後、力を入れて取り組みたいことを教えてください。

中学校において、特に部活動を支える環境づくりは、今後地域の支援がより必要になっていくのではと考えています。子どもたちが学校の枠を超えてさまざまな大人と出会うことは貴重な経験です。活動の際に協力を呼び掛けると、いつも素晴らしい方々が手を挙げてくださり、地域は人材の宝庫だと改めて知ります。そういった地域の方々や団体の力を借りながら、子どもたちの豊かな成長を支える地域づくりに寄与していければと思います。

紹介します！
いろいろな学校の取り組み

学校運営協議会委員が議論し、学校・地域の皆さんと共に実施することとなった取り組みを紹介します。

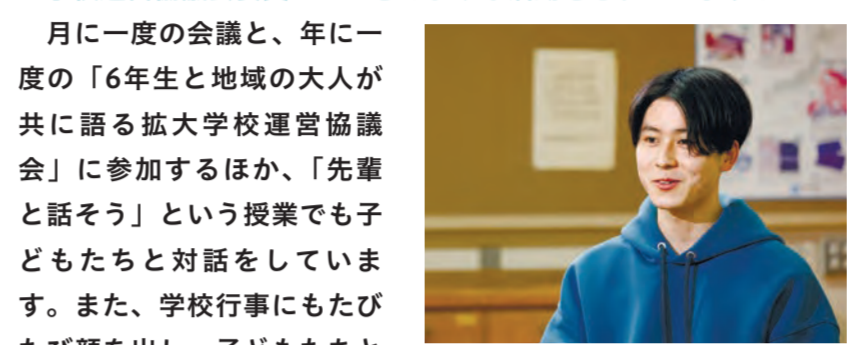
- 方南小学校
「むさし野の森活用プロジェクト」
学校運営協議会が主催して、校内にある「むさし野の森」の花壇づくりを、地域との協働の取り組みとして行っています。
- 泉南中学校
「学校生活アンケート」
学校運営協議会が実施した生徒へのアンケートをもとに、協議会委員と生徒で懇談を行っています。生徒のさまざまな声を、より良い学校づくりに生かしています。

プロフィール：十亀章子（とがめ・あやこ） 向陽中学校にてPTA会長を務めた後、同校の学校運営協議会委員に。現在は永福小学校でも同委員を務める。また、平成30年には「NPO法人すぎなみ子どもサポート」の設立に参加し、以来、中学生対象の学習支援「Cafe勉」、部活動の環境を支援する「バレーボールわくわくレッスン」の立ち上げを担当。本業は歌手&ボイストレーナー。

すぎなみピット
interview
学校運営協議会委員

CASE-2 | 若い世代だからこそ拾える子どもの声がある

—学校運営協議会委員としてどのような活動をされていますか？



月に一度の会議と、年に一度の「6年生と地域の大人が共に語る拡大学校運営協議会」に参加するほか、「先輩と話そう」という授業でも子どもたちと対話をしています。また、学校行事にもたびたび顔を出し、子どもたちと会話をしながら彼らがどのようなことを感じているのかキャッチし、それを自分なりに解釈して協議会の場で伝えることもしています。僕自身、委員になるきっかけが高校3年生の時に「先輩」として参加した「先輩と話そう」だったんです。自分が中学・高校でやってきたことを子どもたちに話したら、僕にとっては何気ない話でもみんな目をきらきらさせながら聞いてくれて。僕も話していて楽しいし、それが学校への恩返しにもつながるのならこうした活動をぜひ続けたいと思い、学校運営協議会委員に応募しました。

—20代かつ学生の委員というのは八木さんのほかにいないのでは？

そうですね、桃井第四小学校の協議会は主に40・50代と、自分とは世代の異なる方々が多いですが、皆さん「学校に恩返しをしたい」という僕の思いを尊重していただき、対等に意見交換することができていると感じています。委員は誰もが「子どもたちのために」という共通の目標を持って、互いに熱量をぶつけ合い教育のことを本気で考えています。小学生の自分が学んでいた背景には大人たちのこんな努力があったのだと改めて気付かされる場です。一方で、子どもたちと年齢が近い自分だからこそ出せる意見というものもあるはず。皆さんの熱量に負けずに子どもたちの声を届けたいと思っています。

—委員を務める上で大切にしていることは何ですか？

一つは、子どもたちのことを思って試行錯誤しながら力を尽くしてください「先生方への感謝」。もう一つは「子どもたちへの尊敬」です。子どもはそれぞれが意見を持つひとりの人間です。敬意を払って接しなければ子どもたちは思っていることを話してはくれません。僕自身小学生の時、職業インタビューの授業で建築士の方に話を聞く

プロフィール：八木稜太郎（やぎ・りょうたろう） 高校3年生時、母校の桃井第四小学校の授業「先輩と話そう」にボランティアとして参加したことをきっかけに、同校の学校運営協議会委員となる。現在は大学経済学部の3年生。大学生ら1000人が所属するサークルの代表を務めたり、企業での仕事を経験したりと学内外で精力的に活動中。

機会があったのですが、子どもだからとないがしろにせず丁寧に聞いてくれたことが印象深く。真剣に臨めば相手もその熱量に応じてくれる。その感覚は、今子どもたちと話す場で生きていて感じます。また、振り返ればそういった桃井第四小学校のキャリア教育は、自らの将来を考えるきっかけになっていたのだと思います。将来を真剣に考えるようになったからこそ、「今やらなければ夢は遠ざかってしまうかもしれない」と思えるようになり、挑戦することの大切さが身に付いた。この話は子どもたちにもよく伝えています。

—協議会に若い世代が増えていくことへの期待はありますか？

意見交換の場に参加する世代が偏ってしまうことは一つの課題ではあると思っています。多様な観点やアイデアが求められる教育の現場だからこそ、世代も職業もさまざまな人がいた方が良いのは明白です。ただ、教育の現場に入って行くハードルの高さも確かにあります。「学校運営協議会ではこんな会議をしています」と地域に向けて発信していくこと、若い世代がもっと協議会に参加していくことが、教育をより豊かにしていく一歩だと思うので、これを機に興味を持ってもらえたらうれしいです。

学校運営協議会公募委員を募集します！
地域と共にある学校づくりに参加しませんか？

募集対象校や応募資格等詳細は、5面をご覧ください。

※募集対象校については、同協議会設置時期や欠員状況に応じて掲載しています。今回対象となっていない学校についても、適宜、広報すぎなみや区ホームページで募集します。



八木 稜太郎

学校運営協議会とは？

学校運営協議会は、学校運営に関する基本的な方針（教育課程の編成など）の承認を行うとともに、学校運営への必要な支援について協議を行います。また、学校運営について、教育委員会や校長に対して意見を述べることもできます。学校運営協議会を設置している学校を「地域運営学校（コミュニティ・スクール）」といい、区ではこの4月をもって全ての区立小中学校で設置されました。制度の詳細は、杉並区教育委員会ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。



YouTubeで配信中！

紙面には掲載しきれなかった取材のこぼれ話も動画で紹介しています。

すぎなみピット
MOVIE

すぎなみピット「学校運営協議会委員」の二人のインタビューが動画でも楽しめます。右2次元コードからご覧いただけます。

杉並区公式チャンネル